

広めよう!

#世界食料デークイズブック

このクイズブックで学んだことや、Q7で考えた「自分にできること」について、SNSを通して多くの方に拡散してみませんか？
多くの方に世界の現状を知っていただき、何かできることを考えていただくことが、世界の飢餓・貧困の解決のための大切な一歩になります！
各SNSにて、**#世界食料デークイズブック** でご投稿をお願いします！

各 SNS のフォローもぜひお願いします

いずれもハンガーゼロの若手スタッフたちが更新しています。

YouTube **Instagram** **LINE**

Twitter **Facebook**

僕たちの LINE スタンプが、なんとなんと、
キングダムビジネスから販売されているよ。
「ジェロムさんと世界のたべものたち」で検索♪

≪ コンゴ民主共和国から来たジェロムさん、
主食のウガリちゃん、ウガリの原料メイズ（とうもろこし）くん。 ≫

スタンプは
こちらから▲

ハンガーゼロ
HungerZero

一般財団法人 Japan International Food for the Hungry
日本国際飢餓対策機構

Child Supporter
チャイルドサポーター

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町 3-74-1
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 517号室
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 YWCAビル 6F
沖縄 〒900-0033 那覇市久米 2-25-8 メゾン久米 202号
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605

■郵便振替／00170-9-68590(一般財団法人 日本国際飢餓対策機構)
■ゆうちょ銀行又は他の銀行からの自動振替 ■クレジット、デジタルコンビニ
※支援金は随時受け付けております。



国連の持続可能な開発目標(SDGs)
Hunger Zeroはチャレンジします

HungerZero



こどももおとなもみんな
考えて、知って、広めよう!

わたしから始める、世界が変わる



Q 世界食料デーってなに？

10月16日 世界食料デーは、世界の食料問題を考える日として1981年に国連が定めた日です。それから40年が経った今でも、世界の飢餓と貧困、また食べ過ぎや食料廃棄の問題は、とても大きな課題です。下の地図は世界各国の栄養不足人口の割合を色で表したのですが、主にアフリカ・アジア・中南米の多くの国々で、大勢の人々が栄養不足の状態であることがわかります。(▷ 3 ページの Q1 飢餓の人は多いの？参照) また、最近の新型コロナウイルス感染拡大によって全世界が経済的・社会的に大きな影響を受ける中、飢餓・貧困で苦しむ方々がさらに増えると予想されています。



出展：WFP 国連世界食糧計画

考えてみよう、知ってみよう！



では、わたしたちは世界の飢餓・貧困で苦しむ方々のために何をすれば良いのでしょうか。

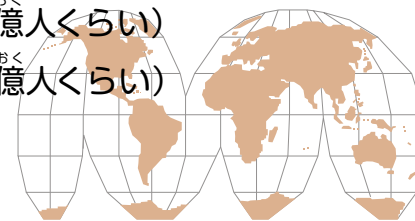
次のページからは、世界の食料問題に関わるクイズを出題していきます。遠い国の話に思えることや、これまで考えたこともなかった質問もあるかもしれませんが、まずは想像力を働かせて考えてみましょう。そして、世界の現状についてもっともっと知ってみましょう。

飢餓の人は多いの？



世界の飢餓人口はどれくらいでしょうか

- ① 6人に1人 (13億人くらい)
- ② 11人に1人 (7億人くらい)
- ③ 20人に1人 (4億人くらい)



食べ物は足りないの？



世界で作られている食べ物の量は、世界中の全員が生きていくのに十分ですか

- ① 足りない
- ② ぴったりくらい
- ③ あまるほどに十分



わたしの食卓と世界の食卓、関係あるの？



わたしたちが食べている物のうち、外国から輸入している分はどれくらいでしょうか (カロリーベース)

- ① 40%くらい
- ② 60%くらい
- ③ 80%くらい



飢餓の人は多いの？

Q1
A
答え

正解は② 11人に1人(7億人くらい)です。

飢餓人口は2014年以降、少しずつ増えており、最近のコロナウィルス感染拡大による経済的・社会的影響により、その数はさらに増える見通しです。アジアで約3億8,000万人、アフリカで約2億5,000万人、中南米で約4,800万人の人々が飢餓に直面しながら暮らしています。

※ FAO 世界の食料安全保障と栄養の現状：2020年報告より

食べ物は足りないの？

Q2
A
答え

正解は③ あまるほどに十分 です。

世界で作られている食べ物の量は、全世界の人が生きていくのに必要な量の2倍近くあります。平等に分け合えば、世界のすべての人がお腹いっぱい食べられるはずなのです。それなのにQ1にあるように、約7億人もの人々が飢餓に苦しんでいるのはなぜなのか、いっしょに考えていきましょう。

※ 1人あたりの年間穀物必要量を180kgとして計算



わたしの食卓と世界の食卓、関係あるの？

Q3
A
答え

正解は② 60%くらい です。

日本のカロリーベースの食料自給率はここ10年、37～39%が続いていて、残りの60%以上は外国からの輸入に頼っている状態です。お米や野菜は国産が多いですが、小麦、大豆、肉、家畜のエサとなる穀物など、身の回りには外国から輸入したものがたくさんあります。わたしたちの食卓は、世界中から多くのものを買い集めることで成り立っています。

その一方で、日本では毎日1人あたりおにぎり1個分ほどの量の食べ物を捨てています。わたしたちはたくさん輸入して、たくさん捨てているのです。

コロナウィルスの影響は？

クイズ
Q4

コロナウィルスの感染症によって飢餓に苦しむ人が増えると予想されています。途上国の人々はどんな影響を受けているのでしょうか

- ① 収入がなくなった
- ② 病院が満員。治療が受けられない
- ③ 勉強ができなくなった
- ④ 1～3のすべて



なぜ世界に飢餓があるの？

クイズ
Q5

世界の飢餓の1番の原因は为什么呢？

- ① 自然災害(地震・洪水・干ばつなど)
- ② 人口が多すぎることで増えすぎたこと
- ③ 自分さえ良ければという考え方(不平等な配分・搾取など)



なぜ学校に行けないの？

クイズ
Q6

途上国で子どもが学校に行けない理由は为什么呢？

- ① 家の仕事を手伝わないといけないから
- ② 学用品を買うお金がないから
- ③ 栄養失調で病気になっているから
- ④ 1～3のすべて

コロナウィルスの影響は？

Q4
A
答え

正解は④ 1～3 のすべて です。

途上国では日雇い労働など不安定な条件で働くてはならない人が多く、仕事を失ったり、収入が減ったりしてさらなる貧困につながりやすい状況です。また、衛生環境が整っていないことや、職業や地域によってはソーシャルディスタンスを取ることが難しいことから、感染が広がりやすい環境にあります。医療システムも不安定な上、病院に行くお金のある人も少ないのです。そして一部の国では学校が閉鎖され、教育を受けられなくなったことや、子どもにとって貴重な栄養源だった給食を食べられなくなったことも、深刻な問題です。

※国連開発計画 HP 参照

なぜ世界に飢餓があるの？

Q5
A
答え

正解は③ 自分さえ良ければという考え方です。

①の「自然災害」も②の「人口増」も飢餓を生み出す要因となりますが、地球規模で考えてみると「人間の自己中心的な考え方」が根本的な原因といえます。世界中の食べ物はあまるほど作られているのに、その食料がきちんと分配されておらず、日本を含む一部の豊かな国では大量の食べ物が捨てられ、今日のいのちをつなく食料を必要とする途上国では飢餓が深刻です。

また途上国では豊かな国に売るための食べ物を安い賃金で作っており、自分たちの食べ物を十分に作れず、収入も不十分という現実があります。飢餓が世界からなくなることの根底には「自分さえ良ければいい」という、他の人への無関心があるのではないのでしょうか。

※ハンガーゼロ HP「企画しよう」視聴覚教材参照

なぜ学校に行けないの？

Q6
A
答え

正解は④ 1～3 のすべて です。

その他にも、国・地域によってはまだ幼いうちに結婚させられたり、貧しさゆえに危険な仕事をさせられたりして、学校に行けなくなってしまう子どもたちもいます。小学校に行けない子どもたちは、世界で 5,900 万人もいるといわれています。

ハンガーゼロの活動の一つ「チャイルドサポーター」は、子どもの健康、教育、家庭環境などを良くしていくための活動しながら、子どもたちが家庭や地域で健やかに成長できるようにお手伝いしています。

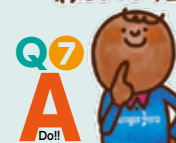
※チャイルドサポーターの活動はチャイルドサポーター HP参照

※小学校に通えないこどもの数は ユネスコ2018年データ参照

わたしにできることは？

Q7
A
Do!!

わたしから始める



ハンガーゼロのモットーは…

「わたしから始める、世界が変わる」です。

ここまで学んできた世界の食料問題・貧困問題の解決のために、あなたにできることはなんでしょうか。

この問題には、選択肢はありません。

こたえは一つではありません。

ぜひ自分1人ででも、ご家族やお友だちといっしょにでも、じっくりと考えてみましょう。日本にいてもできることが、きっとあるはずですよ。

・自分にできること…

・家族や友だちといっしょにできること…

もっと知りたい!もっと学びたい!という人のために
『特設 WEB ページ』をご用意しました。
それぞれのクイズの詳しい解説をしています。
ぜひチェックをお願いします!!

